

あらくさ

編集責任者：歌房哲也

〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷11584
 生活介護事業所 あらくさ
 TEL 0847-67-3410 FAX 0847-67-3439
 E-mail arakusa@f2.dion.ne.jp
 〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷1215-1
 就労継続支援B型事業所 夢工房ねむの木
 TEL 0847-67-5051 FAX 0847-67-2080
 E-mail arakusa-nemunoki@3.dion.ne.jp
 地域活動支援センター ふらっと
 TEL 0847-67-5052 FAX 0847-67-2080
 E-mail arakusa-flat@7.dion.ne.jp
 あらくさホームページ <http://www.pionet.ne.jp/~arakusa>

今年も☆田植え交流をしました

去る5月18日(金)に、福山市にある『さんさん作業所』の皆さんと合同の田植えを行いました。あらくさの利用者もこの日を楽しみにしており、作業所のバスが来ると外に出て、「久しぶりじゃね」「よう来たね」と1年ぶりの再会を喜ぶ姿が見られました。



一列に並んで田んぼに入り、真剣な様子で田植えが始まりました。手元の苗がなくなると「こっちに頂戴！」と声を掛け、周りにいた利用者が苗を投げました。しかし、うまくキャッチできず顔や服に泥が散ってしまい、大笑いする場面もありました。

連携プレーで、予定時間よりも早くに田植えが終わりました。「疲れたね〜」「今年はこけなかったね」などと言い合い、一仕事を終えそれぞれ満足そうな表情を浮かべていました。みんなで植えた田んぼを見ながら「育つのが楽しみじゃね」と、今年も賑やかに田植え交流を終えました。今から秋の収穫が楽しみです。



きょうされん第41次
 国会請願署名・募金活動

国会請願署名・募金活動に
 たくさんご協力いただきありがとうございました。



あらくさ署名数：2,325筆・募金額129,587円



集まった署名及び募金は、5月24日(木)きょうされんを通して国会に届けました。



★ **きらい** ★

新しい利用者を
 紹介します



こうの まさき
河野 真樹さん ウイング班所属
 3月に庄原特別支援学校を卒業し、通所を始めました。まだ慣れない所もあるけど、今はタオルたたみを頑張ってやっています。カーブが好きなので、今年も優勝すると嬉しいです。よろしくをお願いします。



まさかね こうじ
政金 恒治さん
 ウイング班所属
 5月より甲奴町内からあらくさに来ています。タオルたたみ、リサイクルの作業をしています。よろしくをお願いします。

(担当：前中)

平成29年度 社会福祉法人あらくさ 事業報告及び決算報告



●平成29年度 平成29年度は、「あらくさ共同作業所誕生30年、社会福祉法人あらくさ設立20周年」といった、節目の記念すべき年でした。これまで支えて下さった方々へ感謝の気持ちとこれからの「あらくさ」のめざす姿を伝えることができました。なかでも記念行事の大きな目的である「平和・人権・命の尊さ」を利用者の精一杯の歌声と言葉で伝えることができたのは何事にも代え難い大きな成果であったように思います。



●あらくさ産の野菜・お米作り

農業部門は、お米と玉ねぎ作りを営農計画に従い、取り組みました。お米作りは前年度に引き続き約1町3反の作付けを行い、前年よりも多く、185袋の収穫がありました。しかし数量が増えた分、販路が乏しく販売に苦労しました。今年も玉ねぎはベト病に悩まされ、小ぶりにはなりましたが無事に出荷することが出来ました。利用者の中には初めて農業をする者もあり、植え付けから関わり、収穫時には誇らしげな姿が見受けられました。

《ウイング班の稲収穫風景》



《凍結含浸法を主菜に使用したお弁当》

●より食べやすい調理法の工夫 咀嚼困難な利用者や高齢者の方々も食べやすく、見た目も損なわれない食事を摂って頂けるよう導入した「凍結含浸法」を使用し「高齢者配食サービス事業」に試験的に提供しました。柔らかく食べやすいという評価は頂けましたが、食材を問わず安定した食品作りが出来るよう、引き続き技術研鑽に取り組みます。

●障害のある人を取り巻く制度の課題 平成29年末に障害者福祉サービスの「平成30年度報酬改定」の内容が示されました。政府から提案されたものの中に「食事提供体制加算」の廃止が盛り込まれていました。この「食事提供体制加算」は十分な収入が得られにくく、自分で食事を用意することが難しい障害のある人たちにとって間接的な経済支援となっていました。その支援の廃止は、全国的にも大きな衝撃であり、当法人も加盟する障害者団体（きょうされん）を通して反対の声をあげました。そして多くの団体が反対運動を起こしたことで結果、平成30年度では加算が継続されました。この成果は運動と連帯によるものです。今後もその必要性を訴えていくと共に、より地域で安心して暮らせるための支援提供ができるよう取り組みます。



○収入 197,180千円

【決算報告】

○支出 175,349千円

(単位：千円)

(単位：千円)

就労支援事業収入	18,151
障害福祉サービス事業収入	170,384
経常経費寄付金収入	2,481
受取利息配当金収入	19
その他収入	3,429
施設整備等補助金収入	2,660
積立資産取崩収入	52

人件費支出	111,426
事業費支出	15,649
事務費支出	7,056
就労支援事業費支出	24,336
支払利息支出	35
その他支出	21
設備資金借入金元金償還金支出	2,476
固定資産取得支出	8,792
積立金資産支出	5,554

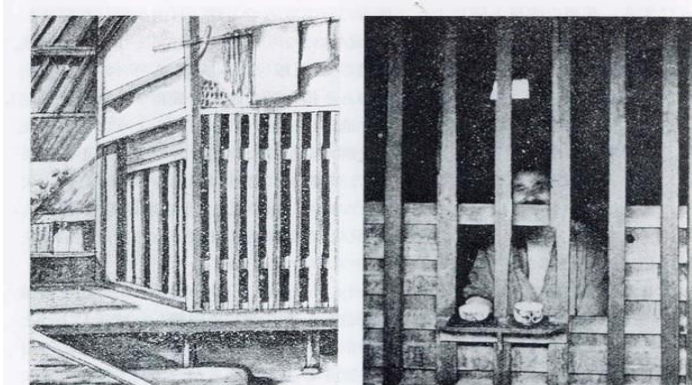
【決算資料の公開閲覧所】 夢工房ねむの木受付

(担当：岡田)

障がい者監禁事件から考える

「私宅監置根絶」への願い

『わが邦十何万の精神病者は実にこの病を受けたるの不幸の他に、この邦に生まれたるの不幸を重ねるものというべし』と呉秀三（精神科医）は、『精神病患者私宅監置ノ実況せいしんびょうしや したくかんち じつきょう およ そのとうけいてきかんさつ』という本の中で書き残しています。この言葉は、「精神に障害を持ってしまったという悲惨さだけではなく、私宅監置（監禁）という現実しかない日本の国に生まれてしまった不幸の二重の不幸を重ねているのだ」と言っています。彼は、精神障害者の処遇を改善し、私宅監置の惨状の中にある人々を病院の中に作られた理想的な環境に移そうとしました。



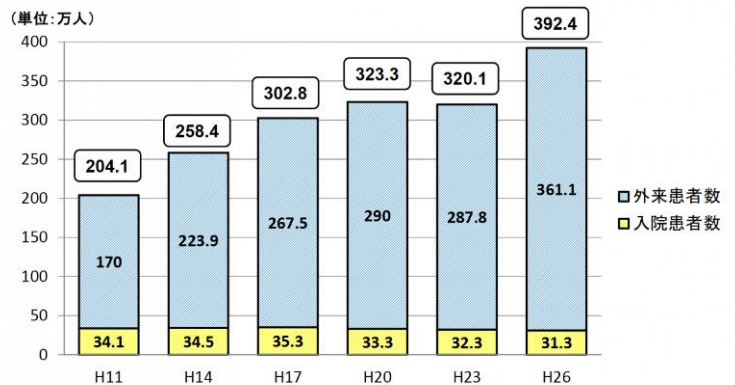
— 私宅監置室（座敷牢） —

当時の写真・「図説日本の精神保健運動の歩み」より

現代版「座敷牢」

この本の発刊から今年、ちょうど100年の節目の年になります。その100年の節目の年を前にした昨年12月に、悲惨な事件が起きてしまいました。大阪府寝屋川市で、両親が統合失調症と診断された娘を15年に渡って監禁し、衰弱しなくなるという事件が報道されました。広さ2畳ほどのプレハブに人目のつかないように閉じ込められ、部屋は外から施錠され監視カメラがつけられていたこと、食事は1日1食で、暖房もない部屋で裸の状態で見聞されたことが伝えられました。まさに、現代の「座敷牢」。監禁された本人の孤独感と絶望感は耐えられないものだったでしょう。

精神疾患を有する総患者数の推移



医療機関にかかっている患者数は、300万人を超えて増え続けています

誰もが安心して暮らせる社会を目指して

明治時代、精神障害のある人に対して治安目的として監護義務を家族に負わせる法律で、私宅監置（座敷牢に監禁）することを認めていた時代がありました。その法律が廃止されてから、70年以上が経過しているにもかかわらず、現在の日本でこのような痛ましい事件が起きてしまいました。今回、この事件は報道というかたちで表に出ましたが、誰にも気付かれずに監禁されている人。監禁に限らず、地域の中で孤立し自宅から外に出る事ができない人。また、地域で受け入れる社会資源がなく、退院出来ずに長期的な入院となっている人など、地域とのつながりが持てず世帯全体が孤立し、家族が抱え込むしかない状況があるかも知れません。

精神疾患は、入院や通院といった適切な治療と、服薬により症状を安定させることのできる病気にもかかわらず、なぜこのような事件が起きてしまうのでしょうか。それは、未だに日本の社会に精神障害がある人への差別や偏見があるが故に、地域社会から障害者を隠さざるを得ない状況があるからだと思います。

私たちは、誰もが地域で安心して暮らすことができる社会を実現するために、障害のある人たちへの理解を広げ、みんなが、支えつなかり合うことのできる地域となるよう、地域に根差した実践を重ねていく必要があるのだと思います。

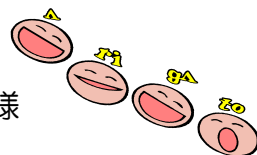
(担当：片山)

いただきました (H30年4月1日~H30年6月30日まで)

金一封ご寄付

(順不同)

道々清子様 石井文明様 風呂節子様 佐藤行雄様 伊達義悟様 遠藤貞子様 自然を守る会様



野菜・食品・物品等のご寄付

(順不同)

竹口義旭様 風呂節子様 伊達美恵子様 平内佳子様 佐藤行雄様 池田キヨ子様 高橋信子様 田村勇様

貞谷保貴様 山根孝志様 水越美智子様 瀬川洋介様 畠田正男様 匿名様

ボランティア

(順不同) あらくさ家族会様 あらくさ友の会様 末藤朱美様

いただいた食材は給食等に使用させていただきました。この他にも、アルミ缶・紙等の資源回収にご協力いただきました。ありがとうございました。記載もれがありましたら、どうかお許しください。

たんぽぽ班からのお知らせ ポイントカード始めました!

皆さま、いつもあらくさのパンをご購入いただきありがとうございます！
新しくポイントカードを始めました！

たんぽぽ班が販売するパンや、お菓子を300円以上お買い上げごとに1つスタンプが付き、10個たまると100円券としてご利用頂けます！
ぜひ、たんぽぽ班の商品をご購入いただきスタンプを集めてください！



カードをお持ちでない方は
販売時にお声かけください！



お客様のご要望に合わせてセットいたします!

あらくさのクッキーや、パウンドケーキ等を詰め合わせたお菓子セットのご注文も承っております。お祝いや、お中元などの贈り物にいかがですか？お気軽にお問い合わせください！



甲奴町にある健康増進施設 ゆげんき内のレストラン「ピーナッツ」様(営業時間11:00~16:00)で、あらくさの焼きたてパンを販売しています(火曜日~金曜日)。

土曜日・日曜日は、大人気!「たまごパン」を販売しています。あま〜い生地でおやつにもぴったりです!皆様ぜひお買い求めください!

お問い合わせは・・・ TEL (0847)-67-3410 たんぽぽ班(原)

今年もやります!あらくさ夏まつり!

日時:平成30年8月4日(土)18:00~21:00

場所:(社福)あらくさ 夢工房ねむの木(芝庭)

地域の皆さまのステージ発表やおいしい屋台、毎年恒例のビンゴゲームも行います!

皆様お誘いあわせの上ぜひお越しください!

